

施策評価調書

施策名	3-1-1	自然環境の保全と景観形成		施策を取り巻く環境変化	麒麟麦酒醸造工場の閉鎖により麒麟麦酒のピオトープでの自然観察会が実施できなくなりました。平成23年3月11日に東日本大震災が発生し高根沢町も多大な被害がありました。平成24年4月から町景観条例が施行されました。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 43		
担当部課	住民生活部 環境課	担当 リーダー	環境担当 阿久津 幽樹		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	27.4% 第3位/全36項目(自然環境の保全と景観形成)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	40.7% 第28位/全36項目(自然環境の保全と景観形成)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:環境基本計画の見直し実施	H22年度時点での実績	計画	実施	継続実施			
	未実施	実績	△	未実施			
指標2:環境学習参加人数:(人)	H21年度実績	計画	1,800人	1,850人	1,900人	1,950人	2,000人
	1,704人	実績	↑	1,850人			
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○指標2:環境学習参加人数は、関係事業の参加者総数としています。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	13,774	13,937		
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H25年度の狙い
自己評価(部)	H23 事後評価	前期計画に基づき、環境学習ではエコ・ハウスたかねざわを中心に民間の力を活用して実施することで、町民の参加は着実に増え施策の展開に貢献しています。今後もこれまでと同様に民間の力を活用することがより重要と考え、環境基本計画の見直しと合わせて、施策展開を含め関係機関との連携強化を進めていくことが必要と考えます。
	H25 事前評価	<p>【1】環境学習への参加は、環境基本計画に掲げる基本目標①「豊かな自然を守り育み、自然と共生するふるさと」、②「環境にやさしく、安心して暮らせるふるさと」、③「手間、暇かけて協働で築く、人と環境に思いやりのあるふるさと」、これらの目標を実現するため、さらに民間の活用を進め、行政としても必要な側面的支援を行い、環境学習の拠点であるエコ・ハウスたかねざわを中心に関係機関との連携強化しながら実施していきます。</p> <p>【2】一般家庭における省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入、整備普及を促進し、電力消費の抑制(節電)や効率的な使用を推進するとともに、町庁舎における太陽光発電及び蓄電池設備の導入等、今後のエネルギー政策への対応を進めていきます。</p>
総合評価(町長)	総合評価	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
	環境基本計画の見直し時期及び次期地域経営計画の準備時期にあたることから、環境政策を再精査するタイミングであると判断する。町として、これまで力点を置いてきた「環境学習」に加えて、「新エネルギー政策」にどこまで踏み込んでいくのか等十分に精査のうえ、次期地域経営計画に向け、計画担当と十分に協議されたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「再生可能エネルギー等導入推進基金事業費」については、「条件付継続事業」とする。長期的なトータルコスト(インシャル+ランニング)の視点で検討しつつ、かつ町一般財源の持ち出しは最小限度に留めるという前提で、事業の組立てを再精査されたい。 ・その他の施策傘下事務事業については、全て「継続事業」とする。